

月平均 500mb 天気図。 1988年 6月

(破線は平年からの偏差。単位m)

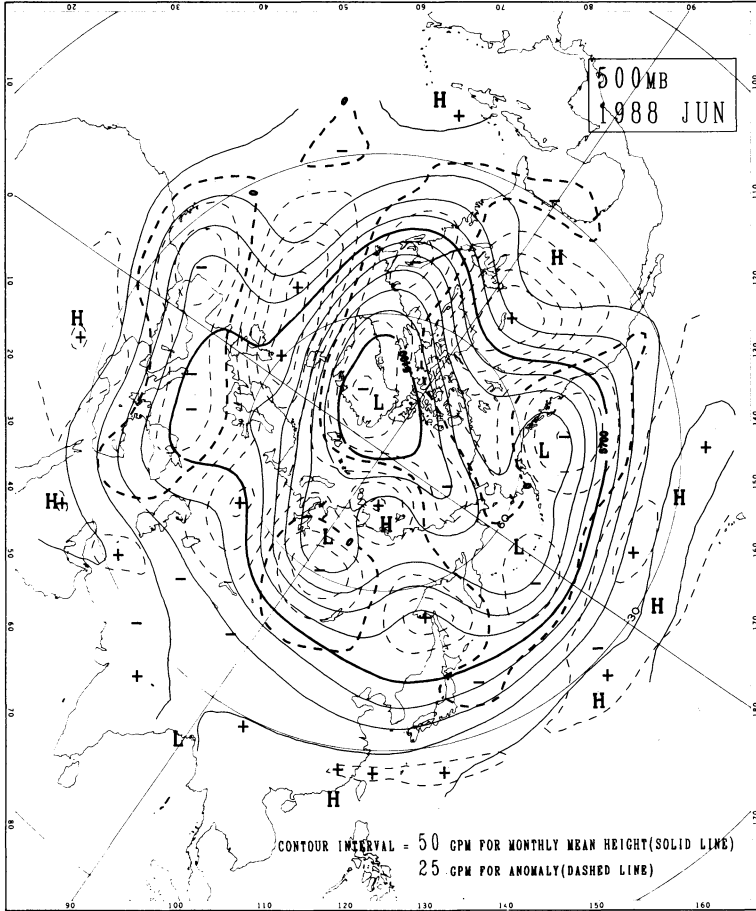


表1 昭和63年 6月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	16.1	-1.0	-0.8	23	46	1	カサブランカ	20.0	-0.5	-0.6	9	450	5
ベルリン	16.8	-0.9	-0.6	127	212	5	ニオロドサヘル	32.7	-0.5	-0.8	64	97	3
ローマ	—	—	—	—	—	—	ブレトリア	11.3	1.4	1.1	9	90	5
アテネ	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	15.1	-0.1	-0.1	39	76	3
モスクワ	19.5	2.7	1.3	104	155	—	ニューオリンズ	25.8	-0.6	-0.5	273	242	5
オデッサ	19.3	-0.4	-0.3	32	71	—	セントルイス	25.4	1.2	0.7	50	46	2
ニューデリー	33.0	-1.5	-1.3	69	106	4	サンフランシスコ	16.9	0.7	0.5	15	500	5
カルカッタ	29.7	-0.7	-0.8	633	244	6	ニューヨーク	22.3	0.4	0.4	24	28	0
ボンベイ	—	—	—	—	—	—	マナウス	26.3	-0.3	-0.3	228	230	5
ホンコン	28.6	1.1	1.1	297	62	2	リオデジャネイロ	20.5	-0.8	-1.0	106	247	5
チャンチュン	21.7	1.7	1.5	46	57	1	ロサリオ	8.6	-2.0	-1.3	1	2	1
ベキン	24.9	0.7	0.6	62	89	3	ホノルル	27.1	1.6	2.0	1	13	1
シャンハイ	24.1	0.9	1.1	83	53	1	タヒチ	—	—	—	—	—	—
バンコク	29.5	0.6	0.9	100	58	—	ダーウイン	25.1	-0.3	-0.3	0	0	3
マニラ	28.8	0.3	0.4	366	155	4	キャンベラ	7.1	0.7	0.8	56	119	4

## 6月の世界の天候

## ① 中国南部の高温

中国南部から台湾にかけて高温とり、月平均気温は台北で $28.6^{\circ}\text{C}$  (平年差 $+1.8^{\circ}\text{C}$ ) など。

## ② ウクライナ地方の多雨

ヨーロッパロシア南部のウクライナ地方は、低気圧が停滞して長雨となり、キエフでは月降水日数が15日で、降水量は104 mm (平年比1.6倍) などとなった。ヨーロッパロシアは月初めには高温で、モスクワをはじめ各地で最高気温が $30^{\circ}\text{C}$  を越えた。

## ③ ヨーロッパ北部の少雨

## ④ ヨーロッパ南部の多雨

月平均500 mb 天気図によると、高度場はヨーロッパ北部では正偏差、南部では負偏差となった。このため北部では少雨となり、月降水量はフィンランドのヘーネサンドで4 mm (平年比8%) などとなった。一方南部では低温・多雨で、スペインのパダホスで平均気温が $20.1^{\circ}\text{C}$  (平年差 $-2.7^{\circ}\text{C}$ )、降水量は134 mm (平年比7.4倍) などとなった。

## ⑤ アメリカ中西部・東部の少雨

## ⑥ アメリカ中西部の高温

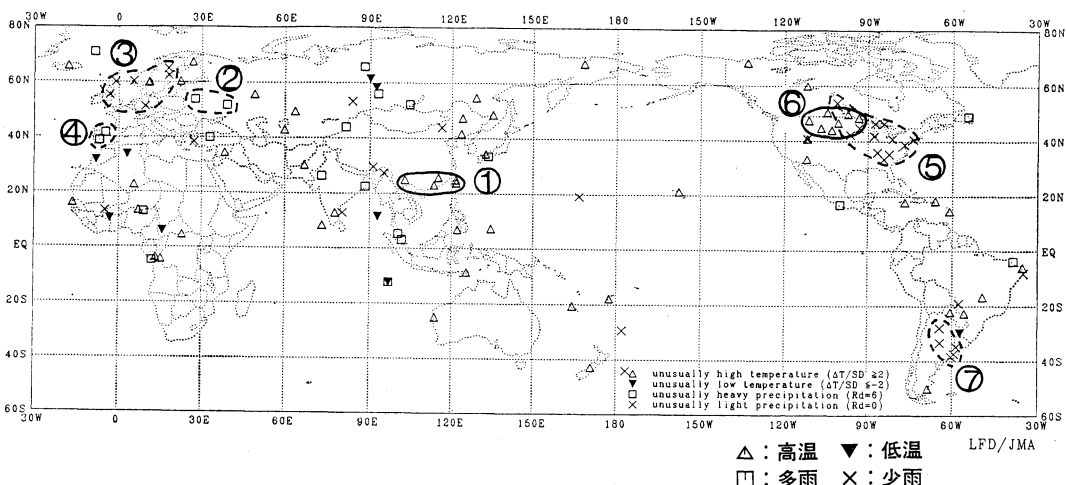
アメリカの東半分は4月からの少雨が依然として続いている。加えて、アメリカ中西部では月平均気温が、ラ

ピッドシティーで $24.2^{\circ}\text{C}$  (平年差 $+5.9^{\circ}\text{C}$ )、ビスマーク $24.3^{\circ}\text{C}$  (同 $+6.2^{\circ}\text{C}$ ) など高温となって、乾燥状態を一層深刻にした。月平均500 mb 天気図でみると、この地方で等高線が北に大きく蛇行し、正偏差場になっている。4月から6月の3カ月間の総降水量は、セントルイス116 mm (平年比39%)、ナッシュビル111 mm (同41%)、デモイン126 mm (同44%) などとなっている。この干ばつの影響は、大豆・とうもろこしなどの農作物への被害だけでなく、ミシシッピ川の水位の低下による交通障害などにも及んでいる。一方、同じく乾燥状態の続いていたカナダ西部では、月初め以来雨が降りやすくなっており、月降水量が157 mm (平年比2.0倍) となったエドモントンのように、平年を大きく越える降水量となったところもあるが、干ばつ状態の解消にはもっと多くの雨が必要とされている。

## ⑦ アルゼンチンの少雨

アルゼンチンでは4月以来少雨の状態が続き、小麦の作付時期を迎えて影響が懸念されている。月初めには、ブラジルのコーヒー地帯に降霜があり心配されたが、被害は小さかった模様。

(気象庁長期予報課 三浦芳敬)



1988年6月の世界の異常天候分布図  
 図中の番号は、本文中の番号と対応している。

1988年6月の気候表の説明

降水階級は、1931—1960年のデータに基づく五分位値。0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。

1988年8月